

つなげよう つながろう ふたばのわ



表紙は加須市民平和祭(加須市)

コミュニティ情報紙「ふたばのわ」は、町民皆さんとそれを支える全ての人を巻き込みそれぞれの思いやあらゆる情報に共有・共感できる紙面をめざしています。月に一度、ふたばのわのページをめくってみんなで一緒に笑顔になりませんか。

▶ 春まつりで人と文化の交流(P2~3)

- ▶ 初發神社例大祭レポート(P4) ▶ ふくしま駅伝選手募集!・町職員からのありがとうメッセージ(P5)
- ▶ スマイルフォト・情報掲示板(P6) ▶ お知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・ブログふたばのわ(P8)

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: 双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>





春まつりで 人と文化の交流

騎西藤まつり



4月29日から5月6日(5月1日、2日を除く)まで、埼玉県加須市の玉敷公園にて騎西藤まつりが開催されました。双葉町の友好都市である加須市には、東日本大震災と原発事故により、避難を余儀なくされた双葉町民を受け入れるなど、さまざまな支援をしていただきました。

4月30日には伊澤史朗町長もかけつけ、双葉町埼玉自治会や、はなみずき婦人学級をはじめとする双葉町民がイベントに参加しました。伊澤町長は「加須市の大橋市長をはじめ、加須市の皆さんには色々な面で支援していただいた。その感謝を申し上げるためここに来ました」と挨拶しました。続いて双葉町埼玉自治会藤田博司会長が「加須市には色々な行事に招待していただき、とても嬉しく思います。地元の方のご支援が、私たちのより良い生活に

は必要。私たちも出来るだけ努力していきます」と挨拶しました。

野外ステージでは、いわき市、白河市、つくば市など各地から集まった双葉町相馬流れ山踊り保存会の皆さんが、踊りを披露。保存会の中村富美子会長は「加須市の皆さまには大変お世話になりました。ご支援いただいたおかげで、私たちはこんなに元気に踊る事が出来るようになりました」と、加須市民への感謝を述べました。

その後、公園内で大きな輪となつてふたば音頭を披露。地元住民や訪れた方たちも一緒に踊りの輪に加わり、交流を楽しんでいたようでした。



藤まつりの歴史

昭和10年から玉敷公園で開催されている騎西藤まつり。推定樹齢450年以上の大藤は、ゴールデンウィーク時期に約1メートルにおよぶ花房を垂れ、多くの人が見物に訪れます。まつり期間中は、日替わりで様々なイベントが開催されるほか、地元特産品などの物産販売も行われています。





ジャンボこいのぼりの目玉と口の大きさは、
直径10メートルもあるんだって！

わたしも加須の皆さんと
交流しました！

加須市民平和祭

5月4日、埼玉県利根川河川敷緑地公園において、加須市民平和祭が行われました。平和祭は市民の平和への願いを込めた祭典で、9回目の開催となった今年は、約11万5千人（加須市ホームページより）が訪れ賑わっていました。

双葉町からは、双葉町観光協会がオリジナルトートバッグへのステンシル絵付けと、オリジナル缶バッジ作りのワークショップを出店。当日は加須市の大橋良一市長もブースを訪れるなど、多くの来場者と交流しました。

平和祭の目玉であるジャンボこいのぼり遊泳は、風が思うように吹かず、予定より時間を短縮してお披露目となりましたが、全長100メートルのこいのぼりがクレーンで大空へ舞い上がっていく様子は圧巻でした。

埼玉県を拠点に活動しているNPO法人の出店ブースに参加していた関根茂子さんは、「平和祭では南相馬市や浪江町など、同じ福島県から避難されている方にお会いするのが楽しみ」と話していました。

いわき文化春祭り

5月19日、20日の2日間、いわき芸術文化交流館アリオスにおいて、いわき文化春祭りが開催され、双葉町からJASマイル大正琴と双葉町相馬流れ山踊り保存会の皆さんが出演しました。この春祭りは、いわき市内外から110団体が参加し、日頃の芸術文化活動の成果を発表する場です。

19日は、JASマイル大正琴の皆さんが鮮やかなブルーの衣裳で登場。「さくらさくら」「野口雨情詩集」「八木節」の3曲を披露し、優しい琴の音で会場を魅了しました。途中、赤い法被に早着替えするという演出もあり、演奏が終わると会場からは大きな拍手がおこっていました。

20日には野外会場にて相馬流れ山踊り保存会の皆さんが踊りを披露しました。いわきの方にはあまり馴染みのない相馬流れ山踊り。町担当者から踊りの説明が行われると、多くの方が立ち止まって勇壮な踊りに見入っていました。

JASマイル大正琴の江尻京子さんは「最近はいわき市

内の施設等にボランティア演奏で呼んでいただく機会も増えました。演奏を続けることでお世話になった皆さんに少しでも恩返しになれば」と話していました。



初發神社

例大祭

4月22日、相馬妙見宮初發神社で、春の例大祭が執り行われました。

震災前の初發神社では、正月、ダルマ市、節分など季節ごとの行事がありました。例大祭もそのひとつで、春と秋の年2回、五穀豊穰、家内安全などを祈願し行われるものです。現在は春のみの開催となっておりますが、昭和40年代頃までは、春は舞台を設置し女性の踊りや神楽が披露され、秋は相撲大会が開かれ多くの人が訪れ賑わっていたそうです。

初發神社の氏子総代と関係行政区長の皆さんは、いわき市内で稲を作付し、年末に集まって翌年の新しいしめ縄作りをしています。遠方に避難している方もおり、しめ縄作りに集まる人も、しめ縄の出来栄も毎年少しずつ違います。以前は鳥居のそばで長さを調整しながら作っていたため、いざほかの場所で作ってみたなら長さが加減できず苦労したということもあったようです。

今回の例大祭には関係者15人が集まりました。高倉洋尚宮司が、祭壇を準備する傍らでは、集まった人たちが「いやいや久しぶりだね。こんな機会でもないとお会いできないから」と談笑する姿がありました。出席者の一人、栗田正さんは「大変なこともあるけど大切なことだし、この神社を長年参拝し心の拠り所としている人のためにも続けていかなくてはならない」と話していました。

例大祭後、参加者たちは町「ミニミニセンター」に集まり会合を開きました。

来年は「式年大祭(遷宮祭)」という13年に一度行われる神事の年にあたります。神社を出発した神輿が中浜地区を通って郡山海岸まで浜下りを行い、海に浴して神の力を再び強めるという「大神事」です。潮垢しほごり離神事と呼ばれるとおり、神社にとっては欠かすことのできない行事です。

現在、初發神社周辺地域は帰還困難区域であること、震災で傾いた神殿等に大規模な修繕修復作業を要することなど課題が山積んでいます。

会合では、まずは神社の修復に着手することを決め、初發神社再建に係る実行委員会を設立しました。

高倉宮司は「多くの皆さんに賛同していただき、なんとか開催できれば」と協力を呼びかけています。



① 開始前に笑顔で談笑

正式な神事の際は正面鳥居からの入場と決まっていますが、顔なじみを見つけ、つい参道脇から入ってしまう人も。「あっちから入るんだぞ」の声に来た道に戻ってやり直していました。



② 玉串拝礼

氏子総代青年部の佐藤剛さん(写真)は「神社には小さい頃から遊びに来ていた。意識して何かを受け継がなくても自然と手伝いをするようになっていた」と話していました。



④ 会合

例大祭後には、列席者による会合が開かれました。総代役員の菊池平五さんが議長に選出され、今年度の決算報告等が行われたのち、神社の修繕修復について協議されました。



③ 列席者で集合写真

神事が無事終了し、列席者全員で写真撮影を実施。鎮守の神様の名のとおりに、手を合わせ心を鎮めることができる場所として神社を守っていくことが関係者の皆さんの願いです。

ふくしま駅伝

選手募集

サポーター
同時募集

毎年11月に開催されているふくしま駅伝。双葉町チームは、震災の年こそオープン参加となったものの、毎年出場を続けています。昨年は総合45位。一昨年から3つ順位を上げる大健闘の走りで見事に完走を遂げました。

現在チームでは一緒に走ってくださる選手と大会時に選手の補助業務を担当して頂くサポーターを募集しています。



秋のふくしま路を一緒に走りませんか？

双葉町チームは、学生、主婦、会社員などで構成されており、走りの経験値も普段の練習量もばらばら。大会の数カ月前から調整に入る選手もいます。それでも監督から多くの指示が飛ぶことはありません。監督は選手の自主性を信頼し、ケガ防止や健康管理など裏方に徹しています。

避難生活が長期化する中、選手の確保が年々厳しくなっています。特に今年は中学生ランナーが不足しており、公式参加が危ぶまれている状況です。

チームを率いる白土直裕監督は「まずは出場することが目標。双葉町は上位を狙うチームではないが、選手一人ひとりが自分の目標をもってレースに臨み、その先にチームの完走がある」と話しています。

走ることが好きな方、興味がある方はまずは7月に行われるチームの夏合宿に参加してみませんか。初心者ランナーでも、レース経験がなくてもチーム全体でサポートします。お気軽にお問い合わせください。



夏合宿参加者募集中

開催日 ▶ 平成30年7月21日(土)・22日(日)

合宿地 ▶ 北塩原村 スポーツパーク 松原湖

申し込み・問い合わせ先

双葉町教育総務課 ☎0246-84-5210

平成23年3月、町は猪苗代町のリステル猪苗代を県内の二次避難所とし、4月4日から町民の受け入れを開始しました。リステル猪苗代への入所者は日を追うごとに増え続け、ピーク時には800人を超えました。

リステル猪苗代の小瀬ゼネラルマネージャーとしてスタッフの皆さまには、多くの町民の受け入れに対応していただきました。また、猪苗代町が、避難中の児童、生徒を地元の小・中学校に通えるようご尽力くださるなど、町全体で温かく迎え入れてくださったことに心から感謝しております。

そして、猪苗代町の医療機関や社会福祉協議会など、ご支援いただきました猪苗代町の皆さまには改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

ホテルリステル猪苗代の
スタッフの皆さま
猪苗代町の皆さまへ

このコーナーでは、2017年8月から開始された双葉町ありがとうメッセージプロジェクトの中で、町に寄せられた物心両面にわたるご支援の数々に対する、町職員の皆さんからの感謝のメッセージを紹介します。

町職員からの
ありがとう
メッセージ

双葉町からの
ありがとうを
全国へ伝えませんか

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



4月13日(金)
県北ふたば会 出前講座
「笑いが一番」
(福島市)



4月21日(土)
県南双樹会
お花見
(白河市)



4月29日(日)
～5月6日(日)
騎西藤まつり
(加須市)



※5月1日、2日を除く



5月8日(火)
柗檀学級
開級式
(福島市)



自治会イベント

双萩会(仙台市)

6/21(木) ▶ 薬膳料理を囲んでの親睦会

県北ふたば会(福島市)

6/22(金) ▶ タブレット教室
7/13(金) ▶ 社協健康サロン

双葉町つくば自治会(つくば市)

7/10(火) ▶ 笑いヨガ

イベント(その他)

▶ 復興公営住宅勿来酒井団地
オープニングイベント

開催日: 6月23日(土)

詳しくは同封のチラシをご覧ください。

▶ 双葉町交流会 ふるさとの集い

開催日: 7月7日(土) 会場: お台場テレコムセンター21階展望台
お申し込みが必要です。詳しくは広報ふたば6月1日号をご覧ください。
いわき・まごころ双葉会、東京ふれあい双葉会の皆さんが参加予定です。
非会員の方も参加できますのでお気軽にお申し込みください。

情報掲示板

お知らせ

弁護士相談窓口

中間貯蔵施設に係る弁護士相談窓口のご案内(6月・7月)

◆開催場所及び開催日時

実施場所	開催日時
双葉町 いわき事務所	6月21日(木)午後2時～午後5時
双葉町 郡山支所	7月19日(木)午後2時～午後5時

◆申し込み方法

事前申し込みになりますので下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

◆申し込み・問い合わせ先

建設課 復旧復興係 ☎0246-84-5209
受付時間 午前8時30分～午後5時15分(平日)

情報

「労働困りごと相談会」開催

賃金未払い、解雇、退職、パワハラなどの労使間のトラブルに関する困りごとや疑問についての相談をお受けします。

相談は無料で秘密は厳守します。

現地相談会では、労働問題に精通している労働委員会委員が対応します。

お気軽にご相談ください。



開催日
現地相談会
電話相談

7月8日(日)

- 郡山市労働福祉会館
- 県会津若松合同庁舎

午前10時～午後4時
※電話予約による時間指定も可能です。

☎024-521-7594(県内全域対象)

午前10時～午後7時



【問い合わせ先】 福島県労働委員会事務局 福島市中町8-2 ☎024-521-7594
メールアドレス roudousoudan@pref.fukushima.lg.jp

福島県文化振興財団職員採用試験

職員(主事・文化財主事・学芸員)採用試験を実施します

採用予定職種 及び人員

- ・主事(事務職) 2名
- ・文化財主事(あるいは学芸員) 1名

受付期間

平成30年7月31日(火)まで消印有効

合格及び採用

合格者は、平成31年4月1日付けで採用されます。

勤務予定地、主な職務内容や試験日時、受験手続等の詳しい情報に関しては、ホームページをご覧ください。

(<http://www.fcp.or.jp/H31saiyou/H31saiyou.html>)

【問い合わせ先】 公益財団法人福島文化振興財団事務局総務課
☎ 024-534-9192 メールアドレス office@fcp.or.jp



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成30年5月25日

- ① 福島市 北幹線第二応急仮設住宅・・・0.11～0.18
- ② 郡山市 日和田応急仮設住宅・・・0.11～0.24
- ③ 郡山市 喜久田応急仮設住宅・・・0.08～0.52
- ④ いわき市 南台応急仮設住宅・・・0.05～0.06
- ⑤ 福島市 県北保健福祉事務所・・・0.15
- ⑥ 郡山市 県郡山合同庁舎・・・0.09
- ⑦ 白河市 県白河合同庁舎・・・0.07
- ⑧ 会津若松市 県会津若松合同庁舎・・・0.05
- ⑨ 南会津町 県南会津合同庁舎・・・0.04
- ⑩ 南相馬市 県南相馬合同庁舎・・・0.07
- ⑪ いわき市 県いわき合同庁舎・・・0.06



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成30年 5月25日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.52
新山	新山公民館	—	0.34
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.35
新山	双葉南小学校	—	0.42
新山	双葉中学校	—	0.19
新山	県立双葉高等学校	—	0.24
新山	中央公園	—	0.46
下条	双葉総合公園	2.60	0.74
下条	双葉町役場	—	0.28
郡山	郡山公民館	1.48	0.41
細谷	細谷公民館	2.31	0.48
三字	三字公民館	2.53	0.84
山田	山田農村広場	24.47	4.83
石熊	石熊公民館	12.10	調整中
長塚	双葉町体育館	6.25	1.42
長塚	長塚二公民館	3.26	0.35

地区	地点	平成24年 4月1日	平成30年 5月25日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.78
長塚	町西住宅	—	0.20
長塚	JAふたば北部営農センター	—	5.41
長塚	双葉北小学校	—	1.39
長塚	ふたば幼稚園	—	1.39
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.37
長塚	双葉町児童館	—	0.31
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.54
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.46
寺松	寺松公民館	3.46	1.03
渋川	渋川公民館	1.48	0.42
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.93
中田	中田公民館	0.77	0.22
両竹	両竹公民館	0.54	0.09
浜野	浜野公民館	0.34	0.07

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

Futasapo Mini Column ふたさぽミニコラム

双葉町復興支援員となり、4月で1年が経過しました。「小高出身の娘」と覚えていただき、取材の際には声をかけてもらうことも多くなりました。右でもお伝えしていますが、私たち支援員が取材に伺ったイベントなどの様子を「ブログふたばのわ」でご紹介しています。写真と支援員の言葉で、ニュースふたば等の動画とはまたひと味違った表現でイベントの様子や、皆さまの笑顔をお伝えしております。こちらはタブレット端末から簡単な操作で閲覧可能ですので、ぜひご覧ください♪

西元 美紀子

文字と写真で コミュニケーション ブログふたばのわ

今月皆さんには是非読んでいただきたいブログは、【活動さまざま!～婦人学級レポート①～】です。こちらでは5月に行われた、婦人学級の活動の一部を紹介しています。学級によっては、男性の会員が参加しているところもあり、活動の内容もさまざまです。本紙でも、来月号から数回に分けて、各地の活動の様子の特集いたしますので、あわせてご覧ください。

